



しくはっく

生活の中の仏教語

「四苦八苦」

曹洞宗布教師 大友 秀孝 師

毎年毎年、四季の移ろいを経て生活する私達ですが、ようやく好時節となりました。ひとたび世の中に目を向けてみますと、毎日悲しい事件や暗い出来事の連続でもあります。

でも、悲しいことや悪いことばかりではなく、私達にとって喜びのうれしい話題もいくつかありました。まずは何とんでも、我が宮城県出身の荒川静香選手が、冬季オリンピックで“イナバウア”の秘技によって獲得した唯一の金メダルがあります。また、王監督率いる日本チームが、WBC（ワールドベースボールクラシック）の記念すべき第一回大会において優勝という栄光を手中に収めたことです。両者とも、それぞれ今日この栄光を手にするまでには、苦悩や挫折の日々の連続であったと報じられており、私達の想像を越える苦勞や悩みや努力、精進があったのだと思われます。私などは、“まるで泥中に咲く蓮の花”みたいなものだと思うと同時に、ふと、私の頭をよぎったのが、「四苦八苦」という言葉でした。

では、四苦八苦とはどういう意味なのでしょう。

私は、お釈迦様が「いよいよ入滅（にゅうめつ せいきよ 逝去されること）される時、弟子達に申された言葉を思い出しました。

『人生は苦なり、この世はすべからく移ろいゆくものなり、怠ることなく精進するがよい』と。いうものです。

誰一人として苦しみや悲しみを望む人はいないはずですが、むしろそのような事が自分自身にふりかからないようにすることでしょう。いわゆる神社仏閣へのお参りや祈願などもそのひとつといえます。

「我が命、仏の慈悲に抱かれて、露の命の人の身も、善き種時きて永しえに、眞実の花を咲かせなん」という句がありますが、この句をわかりやすく申し上げると、「人生とは一度きりで二度はないのだ。生者必滅・会者定離なのだ。ならばこそ生きている間に善い種を蒔いて、仏心という花をいっぱい咲かそうではないか」と言うものです。

四苦とは、八苦とは何でしょうか。前述したことと関連するのですが、四苦とは“生苦、老苦、病苦、死苦”をいい、人の一生における苦の総称を表し、更に、愛別離苦（あいべつりく おんぞうえく 愛する人と別れる苦しみ）、怨憎会苦（苦手な人や、嫌いな人と会わなければならない苦しみ）、求不得苦（くふとくく 欲しくて仕方がないものが手に入らない苦しみ）、五蘊盛苦（ごうんじょうく 色・受・想・行・識〈人間の肉体と精神の集まり〉の苦しみとをあわせて“四苦八苦”といいますが、転じて、「人間界のすべての苦しみや言語に絶する苦を意味するようになったものなのです。他にも世の中には七顛（転）八倒の苦しみ、苦あれば楽あり、苦しい時の神だのみ、などの言葉があります。

いずれもお釈迦様が説かれた人生は苦なりとに通じ、又、どのようにして対処すべきかを説いておられます。

私達は生きている限り、尽きることのない苦しみや煩悩をもって生きて参りますが、『一切我皆懺悔（いっさいわれみなざんげ とく）』とお唱えをし「四苦八苦」や「煩悩（めつじょう）を滅除（めつじょう）して生きていくことにいたしましょう。



曹洞宗 宮城県布教師協議会会員

（亘理町 光明寺副住職）

今でも一年に一度くらい夢に見る。それは叔父の家の葬式のことだ。今は亡き叔父か叔母の葬式を翌日に控えているのに肝心の準備がさっぱり出来ず、自分があせっている夢を見る。あるいは、葬式の当日、葬儀場（お寺）への出発時刻が迫っているのに、喪主側や葬儀場の準備が整わず、大いにあわてているという夢だったりする。実際は、それぞれ葬式とも、滞りなく済ませているのにー。

何故だろうか。叔父の葬式が行われたのは、今から五十年近くも前のことだが、郵便局に配属になったばかりの私は数少ない電信技術者として、もう一人の職員と二人で二十四時間交代の勤務をしており、戦時下のこともあって叔父の葬式に十分な休暇がとれず、思うように本来なすべき手伝いをしなかったことが、いつまで気持ちの上で負い目となっていて、とき折のこうした夢になるのであろうか。

私の母は十年ほど前に亡くなり、その葬式は兄の家から出したが、休暇の充分とれた私は葬式の実質的な事務長役をやり、ノート片手に万事手落ちの無いようにと心掛け、無事すました。にも拘らず、年に一度くらい葬式の準備がうまく行かず、あわてている夢を見るというのはどうしたことだろう。

還暦を過ぎた私が、やがて自身の葬式を迎えるのもそう遠い将来ではないであろう。その時に、残った家族の者が、私の葬式のこと、あまり戸惑うことの無いように、葬式の知識を覚えておくことも必要ではなかろうかと思っている。もっとも、それは親戚の人や葬儀社が手落ちなくやって呉れることであるがー。

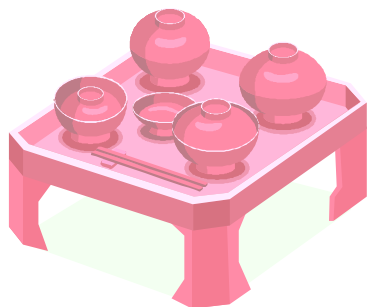
〔セキセー（葬にまつわる体験談）引用〕

## JA葬祭インフォメーション

秋色が日毎に深まってまいりました。日頃JAの葬祭事業にご理解を賜り心より御礼申し上げます。

『JA古川葬祭センター』では日ごろ皆様から頂きますご意見、ご質問を参考に葬儀に関するさまざまな情報を提供して参ります。

さて、今回は『精進料理』についてです。よく耳にしたことはあると思いますが、あらためて考えると「よく分からないなあ・・・」という方も多いと思います。



### 『精進料理』とは・・・

魚や肉類、ニラ・ねぎ・にんにくのような香りのきつい野菜類を材料に使用しない料理のことをいいます。

「酒肉を断ち、身の節度を保つ」ことを意味されているようです。